

西特だより

ホームページ



Instagram



電話 053 (436) 1370



「創立 60 周年を祝う会」



本校は、昭和 38 年に浜松市立豊岡小学校・北星中学校の特殊学級として授業を開始し、翌年に静岡県立静岡養護学校西部分校となり、昭和 49 年に静岡県立西部養護学校として独立しました。さらに平成 20 年には静岡県立西部特別支援学校へと校名を変更し、平成 29 年に現在の地に新築移転しました。

今年度は創立 60 周年ということで、全校あげてお祝いムードにあふれています。子供たち主体で 60 周年キャラクターの「エール・えーる」を制作したり、60 年の歴史を学びながら回れるスタンプラリーを企画したりしました。また、60 周年記念作品展として、校内にたくさんの作品を飾り、校外にも出展しています。

「60 周年を祝う会」では、代表委員会の児童生徒が進行し、創立 60 年の歴史や今頑張っている様子のスライドを見たり、PTA からたくさんの記念品をいただいたりしました。校長先生の話のときは、「エール・えーる」も駆けつけてくれました。

これからも、「感謝をもって、夢に向かってチャレンジ」の合言葉のもと、それぞれの目標に向かって、みんなで頑張ります！

地域の皆様におかれましても、今後も本校の教育への御理解と御協力をよろしくお願い致します。



「60 周年記念青藍祭」



11 月 7 日（木）から 11 月 15 日（金）の期間に、60 周年記念青藍祭が開催されました。昨年度までの青藍祭は、感染症対策のため学部開催とし、参観人数も限定しながらの開催でした。しかし、今年度は令和 2 年度以降初めて開会式と閉会式を全校同時に行うことができました。また、放課後等デイサービスや卒業生をはじめとした地域の皆様に参観していただき、学習発表や作品展を行うことができました。児童生徒は、これまで以上に発表を楽しみに準備や練習を行い、当日を迎えることができました。

皆様方の温かい御支援や御協力をいただき、青藍祭を盛会に終えることができました。心より厚く御礼申し上げます。



西部特別支援学校の防災教育



本校では、地震や火災の訓練を年間6回実施しています。その内訳は、火災2回と地震4回を想定し、日時を決めたり一定期間内に予告することなく行ったりしています。移動が困難な児童生徒や、繊細な医療機器と共に移動する児童生徒が安全に避難できるよう、職員全員が緊張感をもって取り組んでいます。また、被災後の生活についての学習として、給食ではなく各自が持参した防災食を食べる機会を設けています。

◎◎各学部から本年度に行った防災学習について紹介します◎◎

☆小学部☆「はま防～家（浜松市防災学習センター）」で防災学習！

社会科の学習で浜松市防災学習センターへ行ってきました。近いうちに来るかもしれない南海トラフ地震に対して、どのような備えが必要か、自分たちでできることは何かなど話を聞きました。『もしもシュミレーター』では、スクリーンに映し出される映像で、地震や風水害に遭遇した時にどうするべきかを3択クイズで学びました。また、被災直後のまちの様子や避難所の様子などの展示物を見て、「寝室では頭の辺りに家具や重い物を置かない。」「水や食料などの物資はすぐに届かないから自分で備えておく。」など、自分でできる備えについて考えることができました。



☆中学部☆ もしもの時のために・・・非常食体験！



中学部では、非常食体験を行いました。事前学習では、学校で保管している防災セットの中身を確認し、体験当日に実際に食べる非常食や使用する道具を準備しました。「水を入れるだけでご飯ができるね。」「手が汚れた時に拭く物が必要かな。」「1食分の量は丁度良さそうだね。」などたくさんの気づきがありました。

今後も、御家庭と協力しながら、災害時に備えていきたいと思います。



☆高等部☆ 自分の命は自分で守る【防災講話】

高等部では、西部地域局 危機管理課 相羽様より講話をいただきました。「自分の命は自分で守る」をテーマに動画や資料を見て、実際の被災時に自分ができるところをシミュレーションしました。「家具が危険な場所にはないか見直したい。」「訓練をしっかり受けることが大切。」「能登半島や東日本大震災の映像を見て地震はいつきてもおかしくないと思った。」など日頃の備えの大切さを学びました。



☆職員研修として、本年度は仮設トイレや段ボールベッドの組み立て、発電機の使用体験等を行いました。